

ジョブコーチ（職場適応援助者）支援サービスのご案内



ジョブコーチ（職場適応援助者）とは

- 障害者を雇用する企業を一定期間訪問し、障害者の就職・定着のために、障害のある方及び企業の双方に対して支援を行う専門職です。
全都道府県にある障害者職業センターに、ジョブコーチが配置されています。



ジョブコーチ支援の内容

- 障害のある方ご本人に対しては「職場適応に向けた助言・援助」を、企業に対しては「雇用管理に関する助言」を行います。特に、障害のある方を直接指導、サポートする担当者に対して、具体的なノウハウをお伝えします。
- ご本人、企業のニーズに合わせたオーダーメイド型サービスです。課題や適応状況に合わせて、支援期間、訪問頻度、支援内容等をご提案します。



パターン例

(ご本人)
「作業を覚えるのに時間がかかる」、「ミスが出やすい」、「ペース配分がつかめない」等

(企業)
「通常の教え方だと習得ににくい」、「指導方法に悩む」、「どのような職務を任せればよいか」等

作業場面介入型

- 集中的に企業を訪問し、ご本人の作業遂行の状況や職場環境について確認します。
- ご本人に適した仕事のやり方や指導方法等について、ご本人と企業の指導・サポート担当者に助言・援助を行います。
- 工作上必要なコミュニケーションに関する助言・援助を場面に応じて行います。

<支援期間> 3カ月程度
<訪問頻度> 当初は週1~2日程度

(ご本人)
「職場内のコミュニケーションが不安」、「うまく体調管理したい」等

(企業)
「心身の安定に努めてほしい」、「職場で必要な配慮を知りたい」等

相談支援中心型

- ご本人や企業の指導・サポート担当者との相談を中心に行い、ご本人と企業のコミュニケーションを円滑化を図ります。
- ご本人に対しては疲労やストレスのセルフケアに関する助言、企業に対しては職場内のラインケアに関する助言を行います。

※ 相談状況により、作業場面への介入も可能です。

<支援期間> 3カ月~6カ月程度
<訪問頻度> 月1~4回程度

作業場面介入 → 相談支援中心への移行等の組合せもできます。

- 障害のある方への直接指導やサポートをする担当者に対するOJTやフォローアップも可能です。

(企業担当者)
「作業指導をしているが、なかなかうまくいかない」、「障害特性がうまくつかめない」、「各種研修は受けたが、実践的な支援ノウハウについてアドバイスがほしい」等

協同支援型

- ご本人に対して、企業担当者とジョブコーチが協同で職場適応支援を行うことで、企業担当者のサポート力の向上を目指します。
- 企業担当者の取組(本人への支援、企業内の調整等)をジョブコーチがフォローするイメージです。

※ 例えば、作業指導の方法、支援ツールの作成、本人との面談方法、職務の選定、ラインケアの方法等

<支援期間> 3カ月~6カ月程度
<訪問頻度> 月1~4回程度



職業センター・ジョブコーチとの



ジョブコーチ支援の流れ



相談受付

- まずは当センター担当者（障害者職業カウンセラー）にご連絡ください。ご希望や状況等を伺います。

支援ニーズ状況確認

- 障害者職業カウンセラーが企業等を訪問し、ご本人、企業担当者等との面談や職場の見学等により、状況を確認します。
- ニーズや状況に応じた支援計画書（案）を作成します。

作業場面介入型 Or and 相談支援中心型 Or and 協同支援型



打ち合わせ

- カウンセラー、ジョブコーチが企業を訪問し、ご本人、企業担当者等に支援計画書（案）を説明しながら、支援開始に向けた打ち合わせをします。

支援開始

- 関係者から同意を得られた支援計画に沿って、ジョブコーチ支援を実施します。

フォローアップ

- 支援期間終了時にカウンセラー、ジョブコーチ、関係者で振り返りを行い、必要なフォローアップを実施します。

ジョブコーチ支援に加え、体系的な企業支援を計画することも可能です。

ジョブコーチ支援 + 一般社員向け研修 + 他社事例の紹介 + 職務設計の助言 etc.



利用にあたって

- 採用時、在職中、職場復帰のタイミングで利用できます。
- ジョブコーチは通常2名体制で、交互に職場を訪問します。
- 障害者トライアル雇用中の利用が可能です。体験実習及び委託訓練中の利用はできません。
- 法令等に基づき秘密保持義務を遵守します。
- 公的サービスのため費用は無料です。

利用者の声



本人

- ・ジョブコーチとの面談を重ね、疲労やストレスの傾向の理解が深まり、自分が心掛けることや職場に求める配慮事項が明確になりました。
- ・作業場面を見てもらい、ミスを防止するための工夫や上司への相談方法について具体的な助言を得ました。

相談+作業支援

- ・本人の特徴が分かり、職場の配慮事項が明確になりました。
- ・以前よりもコミュニケーションがスムーズになり、指示や助言がしやすくなりました。

上司



- ・発達障害者との面談技法や作業の課題分析の方法が参考になりました。
- ・部署内のミーティングに同席してもらい他の従業員の理解も進みました。

企業内ジョブコーチ



協同支援



独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 長野支部

長野障害者職業センター



所在地

〒380-0935
長野市中御所3-2-4
(ハローワーク長野となり)

TEL

026-227-9774

FAX

026-224-7089

Email

nagano-ctr@jeed.go.jp